

平成 24 年度 第 1 回三条市こども未来委員会会議録（概要）	
日 時	平成 24 年 5 月 30 日（水）午前 10 時～11 時 50 分
会 場	市役所栄庁舎 2 階 201 会議室
出席者	<p>検討委員：橘委員長、皆川副委員長、大谷委員、佐野委員、桑原委員、 米山委員、遠藤委員、近藤委員、渡辺委員、清水委員、関川委員</p> <p>欠席委員：小林委員、田中委員</p> <p>事務局：池浦教育部長、久住子育て支援課長、清水課長補佐、樋口係長、 川俣主任、阿部指導主事</p>
委 員 会 内 容	
清水補佐	<p>これから平成 24 年度第 1 回三条市こども未来委員会を開催します。 三条市こども未来委員会委員の委嘱を行います。</p> <p>【池浦教育部長から委嘱状交付】</p>
池浦部長	<p>教育部長の池浦です。市長は、あいにく他の公務により、出席することができません。代わりまして私から一言挨拶申し上げます。</p> <p>日ごろは、本市教育行政、福祉行政の推進に多大な御理解と御協力をいただいておりますこと、衷心より深く感謝申し上げます。とりわけ、この度は、三条市こども未来委員会委員をお引き受けいただき、また、御応募いただきまして、誠にありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。</p> <p>さて、これまで三条市では、平成 20 年 4 月に、市民の皆様の日線に立ち、義務教育と子育て支援が連携し、ライフステージに対応した子育て支援という政策を切れ目なく総合的に推進するため、教育委員会に「子育て支援課」を設置しました。そこで、市民の皆様も交えた広い視点で多様な子育て支援策を具体的に検討する場を設置したいと考え、この「三条市こども未来委員会」を同時期に設置しました。</p> <p>これまで、この「三条市こども未来委員会」では、栄庁舎での図書館を併設した子育て拠点施設「すまいるランド」の整備を始め、子育て支援策の各種事業について幅広く御審議いただきました。特に、妊娠・出産期から就労に至るまでの、子どもというライフステージに応じた総合的な子育て支援のあり方について御審議いただき、策定いたしました平成 22 年度から平成 26 年度までの三条市次世代育成支援行動計画「すまいる子どもプラン」の進捗状況について御意見を賜っております。</p> <p>皆様方からは、平成 24 年度以降の子育て支援策について、優れた知見とそれぞれの立場からの建設的な御意見を賜り、三条市の子育て支援のあり方について真摯に御議論いただくことをお願い申し上げまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。</p>
清水補佐	<p>これから会議に入りますが、正副委員長の選任まで事務局で会を進行させていただきます。</p> <p>本日の出席者数について、13 名中 11 名の委員から出席いただいておりますので、三条市こども未来委員会要綱第 6 条第 2 項の規定にあるように半数以上の</p>

	出席がありますので、本委員会は成立しています。
	<b>【会議資料の確認】</b>
全員	<b>【委員及び事務局 自己紹介】</b>
清水補佐	次に次第5、委員長及び副委員長の選任についてです。
久住課長	先程、皆様に委員の委嘱をさせていただきましたが、ここで正副委員長について選任をさせていただきたいと思えます。 三条市子ども未来委員会要綱第5条に、委員会に委員長及び副委員長を各1人置き、それぞれ委員の互選により定めるとあります。委員長の選任についてどのように取り扱いましょうか。
橘委員	事務局に腹案があれば一任したいと思えます。
久住課長	今ほど、事務局一任の声がありましたが、それでよろしいでしょうか。
	<b>【拍手により全員承認】</b>
久住課長	それでは、前回の当委員会でも委員長を務めていただいた、当委員会の総務をしていただける方として、橘委員にお引き受けいただきたいと思えますが、いかがでしょうか。
	<b>【拍手により全員承認】</b>
久住課長	それでは、橘委員に委員長をお願いしたいと思えます。
清水補佐	それでは、橘委員には委員長席に移っていただき、以降の進行をお願いします。
橘委員長	只今から子ども未来委員会の進行をさせていただきます。 委員長を引き受けましたが、実はすまいるランドができる少し前から縁があって三条市に関わることになりました。 この間、すまいるランドができ、水害や大震災やいろんなことが起こりました。特に昨年の大震災で三条市にもたくさんの方がおいでになられた際も大学院の臨床心理士の養成をしている立場からお手伝いさせていただきました。珍しいことですが、新潟青陵大学と三条市は提携を結んでおり、いろいろなところでお手伝いをさせていただいています。先程教育部長からお話があったが、単に子育てという「点」で見るのではなく、義務教育とつながる子どもの成長という「線」で子育てを考えているという姿勢に非常に感銘を受けました。そのような視点がなければ、ただその「点」で終わってしまい、それは芳しくないと考えています。それを踏まえ、これから二年間、委員の皆様と一緒に三条

	<p>市の子育てについて考えていければと思います。</p> <p>続いて、副委員長の選任についてです。互選について御意見はありますでしょうか。</p> <p>しばらくして無いようですが、事務局の腹案はいかがでしょうか。</p>
久住課長	<p>当委員会は、子どもを安心して産み育てることができる環境を整備するためにはどうすればよいかといったことも設置目的の一つであることから、幼児教育や子育て支援に幅広い知見があり、日々実践者として携わっておられる皆川委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
	<p><b>【拍手により全員承認】</b></p>
皆川副委員長	<p>三条市私立保育園連盟代表の皆川と申します。今年度から参加させていただきます。何も分からず不安ですが、助けていただきながら子どもたちにとってよりよい環境づくりに精進してまいりますので、よろしくをお願いします。</p>
橘委員長	<p>では、次第6の議題に入ります。議題について事務局からお願いします。</p>
久住課長	<p><b>【久住課長から議題について説明】</b></p>
橘委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>5年間のすまいる子どもプランの中で、具体的な目標やそれに伴う事業が細かく作られており、今までの事業の再編や見直しなどいろいろなことが入っています。委員会ではこのような施策に対して、子育ての中で皆様が思っていることや質問があればお願いしたいと思います。特に、すまいるランドができてハード面は非常に評価が高いが、別の角度からどう評価するかという難しい問題があります。その辺もどうでしょうか。</p>
米山委員	<p>ハード面ではなくソフト面の評価をしていることはいいことだと思います。</p> <p>50ページの成果指標についてですが、平成26年度の目標値は何を根拠に設定していますか。</p>
久住課長	<p>平成21年度に数値が高かったものについては100パーセントに近い値を目指し、数値が低かったものについては、5パーセント以内は誤差の範疇といわれるため10パーセント増を目標として設定しています。</p>
米山委員	<p>毎年やられていると思うが、特に成果が上がった項目はありますか。</p>
久住課長	<p>全体のアンケートは毎年とってはいいないが、マタニティから幼児期、就学前まで家庭教育講座をやっており、そのアンケートの中の項目に不安感について聞いています。</p> <p>以前に比べて子育てしやすくなったというポイントが上がってきました。そ</p>

	こが成果の上がった項目だと思います。
佐野委員	課題3の子育てと仕事の両立に関するプロジェクトはないようですが。
久住課長	失礼いたしました。皆様のところには、修正前の冊子が配られていたようで、ワークライフバランスプロジェクトは課題3です。
佐野委員	施策9多様なニーズに応じた保育サービスの充実の想定される事業で、保育所の民営化・統合の推進があります。公立の保育所は土曜日午前中までですが、私立だと土曜日は一日で保育サービスの充実になると思います。他に民営化・統合が進んでサービスが充実したと保護者が感じられるところはあるでしょうか。
久住課長	民営化により園ごとに多様な保育活動を行うところや、生後2か月からの受入が可能などです。また、保育施設の整備を行いハード面でも充実ができたと考えています。
橘委員長	保育士の質の向上など園ごとの格差はどうですか。園ごとに個性的に出来るということは、いい面もあるが格差もできると思います。
久住課長	保育所では、平成21年度から3歳以上の子どもに対する幼児教育をしようということで、取り入れています。保育指針もガイドラインではなく、保育園のように教育を取り入れているということになりました。保育指針の中で目指すところが決められているため、そこに向かうツールは多々あると思うが、目指すところは同じだということをやっています。平成23年度から幼児教育推進プランを作り、市立私立を問わず全ての保育・幼児教育施設が幼保小の連携も含めてこういう形で進めていこうということをやっています。この推進状況については別建てに幼児教育推進会議を設け、同じ目標に向かってやっていけるように細かく計画を作らせてもらいました。昨年の取組も含めて御説明させていただくために後ほど配布いたします。
橘委員長	今年度の事業計画や実施計画について説明をお願いします。
久住課長	<b>【久住課長から実施計画について説明】</b>
橘委員長	ご意見、ご感想などありましたらお願いします。
遠藤委員	プレパパ・プレママ教室の実施についてですが、昨年度の実施回数は2回コースを年間12回実施したとありますが、どのくらいの方が参加されたのでしょうか。
久住課長	初産婦とその配偶者を対象に考えている。経産婦だと経験があるためなかなか出席いただけません。対象者のうち受講率は第1コースが12.7パーセント、第2コースは11.1パーセントが参加でした。マタニティから実施しています

	<p>が参加率は少ないし、産婦人科でも同じようなことをしているため、家庭教育の観点も含め、一緒に子育てをしていく環境づくりを目指して今年度実施しました。</p>
遠藤委員	<p>初産のどの位の方が参加されていますか。</p>
久住課長	<p>初産のうち 23～30 パーセント参加しています。</p>
渡辺委員	<p>プレパパ・プレママのことで、自分は産んだばかりだが、内容がこちらの望んでいるものではないです。3人子どもがいて3回とも出ているので変わっているのも分かるが、他のママに聞くともっと実践的なことがしたいと言っています。お風呂に入れるのも産婦人科でも教えてくれますが、ここでは実際にやらせてもらえます。ですが時間が短すぎます。教室を開かなくても、例えば昼間にすまいるランドですることにはできないですか。また、教室ではなく、友達作りの場としても活用してもらいたいです。</p>
久住課長	<p>内容については体験を増やしたり、時間についても何回かに分けるなどしたり工夫をしたいと思います。</p>
渡辺委員	<p>出前講座に魅力がないです。頼みたいと思うが、頼みたい講座がない。内容についてももう少し考えてほしいです。</p>
久住課長	<p>どんな内容がいいかというアンケートからやってみようと思います。</p>
渡辺委員	<p>ガイドブックの地図が見にくいです。また、育児アドバイスブックの配布のタイミングは母子手帳と同時がいいと思います。</p>
久住課長	<p>ガイドブックについては毎年改定しています。保育所の紹介等入れた方がいいという保護者の声がありましたので、24年度はそういった点も踏まえて作成したいと思います。育児ブックはガイドブックと一緒に妊娠届のときに配りたいと思います。</p>
桑原委員	<p>受動喫煙に関する項目があってもよいのではないのでしょうか。</p>
久住課長	<p>健診時にチラシを配布したり、家庭教育講座でも発信したりしていけたらと思います。</p>
佐野委員	<p>病児病後児保育について、新しい課題だと思うが、ウイルスに子どもがかかった場合、完全に治っていないときに預けるといった話を聞きます。</p>
皆川副委員長	<p>保育所では医者から完全に治ったという証明がないと預かりません。証明は無料で書いてもらっています。衛生面では非常に気をつけてやっています。</p>

久住課長	ノロなど分かりにくいのでそういうものに関しては預ける側も注意していただきたいです。
米山委員	6ページ2番幼保小の連携の推進ですが、大変ありがたく思っています。いっ中一プログラムが三条市にくるか心配していますが、来ないうちに手を打っていただいてありがたいと思っています。わくわくチャレンジ家庭版をぜひとも保護者が活用出来るように工夫してもらいたいと思います。
久住課長	園を通じて配るだけではなかなか浸透しないと思いますので、平成24年度から小学校就学前の家庭教育講座の内容として講座をやりたいと考えています。
橘委員長	では予定時刻になりましたので、これで1回を終わりにしたいと思います。
久住課長	様々な意見ありがとうございました。これらを踏まえてやっていきたいと考えています。

(11時50分 終了)